

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【調査票3】

基本目標 気持ちいい住環境 “暮らしたいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 実施状況			④ 担当課	令和3年度以降新たに取り組んだ[取り組む]内容
		準備中	実施中	完了		
犬山市での子育てと女性の活躍を応援します	「応援チーム」と連携した子育てと女性の活躍応援事業		○		子ども未来課ほか	子育てと女性活躍応援事業の中で立ち上げた「NPO法人にこっと」を受託者として、利用者支援事業(子育てコーディネート業務)を開始した。利用者支援事業により子育てと女性活躍応援を進める。
	子育てと女性の活躍応援事業の情報発信		○		子ども未来課	子育て応援情報サイトによる情報発信を本格的に開始した。引き続き子育て応援情報サイトを運用し、内容の充実と周知を図る。
	病児保育事業実施	○			子ども未来課	病児保育の担い手となる医療機関を決定した。令和6年度の病児保育事業開始に向け事務を進める。
	多子世帯支援策の強化		○		子ども未来課ほか	令和3年度、多子多胎子育て支援施策の個別事業として以下の事業等を開始。 ○家事援助ヘルパー派遣(多子・多胎世帯) ○一部講座の参加費等無料化(多子・多胎世帯) ○犬山産米配布事業(多子・多胎世帯)等 令和4年度以降、以下の事業等を追加予定。 ○保育料(3歳未満児)の無料化(多子世帯) ○子ども未来園や小中学校等の給食費無料化(多子世帯) ○児童クラブ利用手数料の無料化(多子世帯)等
	産後ケア事業の開始		○		健康推進課	5医療機関に事業を委託。利用人数6人、合計31日間の利用となった。令和5年度アウトリーチ型実施に向け準備を進めていく。
子育て支援施設を計画的に整備します	子ども未来園施設整備		○		子ども未来課	基本設計のための事業者を決定。用地取得に向けた確定測量及び鑑定評価を実施。実施設計のほか、農地転用等の行政手続き、園舎整備により、令和6年度中の整備完了、令和7年度の開園を予定。
あらたな商業立地を積極的にすすめます	橋爪・五郎丸地区での道の駅エリア整備		○		都市計画課	令和元年度に道の駅エリア基本計画を策定。令和2年度に市民説明会の開催及び市民アンケート、整備・運営事業者の選定に着手する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、予定していた取り組みを当面見合わせることにした。検討再開の時期や今後の進め方については、市民生活や経済状況などを十分に考慮し適切に判断していく。
	幹線道路への商業施設誘致		○		産業課	不動産事業者と意見交換を行い、情報の収集や提供を行い進出を促した。1件の店舗がオープンした。
住環境(インフラなど)を整えます	重要な幹線道路の整備(富岡荒井線など)		○		整備課	令和3年度は富岡荒井線の道路工事を193m(未供用)施工し、二ノ宮川の橋梁工事に着手。令和4年度は富岡荒井線の道路工事を約560m(未供用)施工する。
	地区計画に基づく道路整備		○		整備課	令和3年度は橋爪・五郎丸地区計画に基づく道路整備に向けて、橋爪49号線外において、道路予定地660㎡用地買収。令和4年度は五郎丸50号線外の道路工事を約220m施工し、橋爪・五郎丸地区計画に基づく道路整備に向けて、五郎丸128号線外において、用地買収に取り組む。
	安全で快適に生活できるよう道路・橋梁等の修繕や街路灯を設置・修繕		○		土木管理課	計画的な舗装改修として市道犬山公園小牧線、市道染田東45号線など5路線を実施した。また、道路側溝の改修についても令和4年度から計画的に進められるよう、年次計画を策定した。令和4年度は道路維持補修工事予算を前年比3,200万円増額し、市民要望に対応していく。
	移動支援方法の検討(地域住民の「足」の確保の検討)		○		防災交通課 高齢者支援課	令和2年度で行ったアンケートを参考に実証実験のモデル地区を池野地区に選定。当該地区の住民を対象に2度の勉強会を実施し、令和4年2月から3月に実証実験(毎週木曜日の午前中に自宅からヨシツヤ犬山店への往復送迎を実施。)を行った。「介護予防・日常生活支援総合事業」で補助等の仕組みを活用できないかを検証するため、令和4年4月～9月を目途に実証実験を想定。
	宅地開発による道路整備の一部を補助		○		都市計画課	令和元年度から制度運用を開始し、令和2年度に制度活用に繋がる民間宅地開発の実績が1件あった。令和3年度までの制度であったため、令和6年度までの3ヵ年延長し、引き続き本制度に合致する開発について、適切に制度運用を促し住環境の改善に努める。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【調査票3】

基本目標 気持ちいい住環境 “暮らしたいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 実施状況			④ 担当課	令和3年度以降新たに取り組んだ[取り組む]内容
		準備中	実施中	完了		
空き家の活用をすすめます	空き家情報提供(空き家バンク)による情報発信		○		都市計画課	空き家所有者に対して継続して空き家バンクによる活用促進を行ったところ、登録物件が増加した。協定により連携を図っている宅建協会と協力して、空き家所有者などに対して空き家バンクの啓発を継続して行う。
	借主改修型(DIY型)空き家事業の活用・啓発	○			都市計画課	体験できるような物件を探して、体験居住やDIYなどの検討を行ったが、コロナ禍のこともあり体験型イベントは実施しなかった。継続して栗栖・今井などで活用できる空き家所有者と相談しながら、DIY体験について協議を行う。
	空き家に関する相談窓口のワンストップ化			○	都市計画課	初期指導については、都市計画課が中心となって円滑に行えた。初期指導した物件を継続的に確認するなど、所有者への啓発を定期的に進める。
帰ろう ふるさと犬山へ 暮らそう 働く犬山で	ふるさと定住促進サポート事業			○	都市計画課	予算が埋まる程度の申込をいただいております。制度の周知が進んできている。継続して広報やHP、関連する団体などとの相互協力などを継続していく。
	働きて定住促進サポート事業			○	都市計画課	予算が埋まる程度の申込をいただいております。制度の周知が進んできている。継続して広報やHP、関連する団体などとの相互協力などを継続していく。
「里山に住む」仕組みづくりに挑戦します	優良田園住宅制度の活用		○		都市計画課	具体的な相談を受けてきたが、申請には至っていない。基準の緩和などの検討が必要となってきている。集落内のみならず、集落の近接地についても指定できるような基準の拡充について検討を進める。
	水辺を活かしたまちづくりプロジェクト		○		企画広報課 観光課	以前から続いている木曾川沿いの竹林整備や地区の魅力を伝えるイベント(収穫祭)を開催した。木曾川観光株式会社と連携し、河川空間の活性化と新たな魅力づくりを進めている。具体的には令和3年末から遊覧船の定期運航を実施(3月下旬から10月中旬まで)。木曾川河畔(内田地区)の活性化を図るため、利活用の可能性調査、実証事業、関係者による意見交換、現況測量などを実施し、具体的な活用プランを数点作成した後に、基本構想を策定する。鵜飼観覧・遊覧を充実させるため、本市が所有する屋形船(若あゆ丸)を改築する。高付加価値/高単価商品造成を目指す。遊覧船事業は引き続き木曾川観光(株)と連携し、年間を通じた運航と企画船造成を進め、具体的な旅行商品造成、ふるさと納税返礼品の造成を図ることとしている。
環境先進都市いぬやまを目指します	環境基本計画の改訂と推進		○		環境課	令和2年度(令和3年3月)に策定した第2次環境基本計画実現(成果指標の達成)に向けて計画進行管理マニュアルを作成。本マニュアルに基づき年次計画を策定し、様々な活動を展開した。計画進行管理を継続実施するほか、計画にある市民主体で展開する重点プログラムの着手を目指す。
	省エネ支援の強化		○		環境課	COOLCHOICE普及啓発事業(二酸化炭素排出抑制対策事業)を実施し、幅広い世代や対象に向けて、様々な媒体を通じて省エネに対する意識啓発事業を実施した。令和4年度は個人・家庭での省エネ推進のため、既存住宅省エネ改修(断熱リフォーム・高効率給湯機設置)、次世代自動車(電気・燃料電池自動車)購入への補助制度を展開する予定。
	広域ごみ処理施設の整備		○		環境課	令和10年度供用開始を目指し、尾張北部環境組合と連携して事業を推進。
誰もがいきいきと暮らせるまちをつくれます	子育ての女性の活躍応援事業の実施(再掲)				子ども未来課ほか	(再掲のため略)
	介護予防事業の推進		○		高齢者支援課	市内4施設でスポーツボイス教室を実施した。(延253名参加)。また、参加者にDVDを貸与し、自宅での介護予防を推進した。
	地域生活支援拠点整備事業			○	福祉課	地域生活支援拠点実施事業所を登録し体制整備した。今後は機能の充実を図っていく。
	多文化共生の推進		○		地域協働課	ポルトガル語窓口通訳者の配置、ベトナム語窓口通訳者の試験的運用、Facebookページの開設(ポルトガル語・スペイン語・やさしい日本語)、外国人窓口利用者の実態調査(令和3年度)スペイン語窓口通訳者の配置、Facebookページの開設(英語)、多文化交流フェスの開催(令和4年度)
	健康市民づくりの推進		○		健康推進課	認定事業所のうち、他の見本となる活動をした優良事業所1社を令和4年3月に表彰した。現在24事業所を認定した。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【調査票3】

基本目標 気持ちいい住環境 “暮らしたいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 実施状況			④ 担当課	令和3年度以降新たに取り組んだ[取り組む]内容
		準備中	実施中	完了		
地域の集いの場づくりを応援します	地域の集いの場づくりの支援		○		高齢者支援課	ホームページ、SCコーディネーターだよりで活動を周知した。つどいの場MAPを更新し、つどいの場を周知した。新型コロナウイルスの影響で開催できなかった、第1層研究会及び第2層交流会を開催し、地域間での情報交換を行う。
安全・安心に暮らせるまちをつくります	通学路安全(路側帯のカラー舗装など)対策整備		○		土木管理課 学校教育課	「犬山市通学路交通安全プログラム」に基づき、プログラムに位置付けられたグリーンベルトやカラー舗装などを計画的に整備を行っている。また、千葉県八街市の事故を受けて通学路の危険箇所について緊急合同点検を行い、対策必要な箇所の確認を行った。これについて、「犬山市通学路交通安全プログラム」と重複している箇所は、計画年度の前倒しを行い令和4年度に実施を予定している。また、整備に当たっては、従来からのグリーンベルト、カラー舗装に加えて、狭窄横断歩道など新たな手法を取り入れる。
	家庭や地域での防犯・防災対策支援		○		防災交通課	防犯・防災に対する補助事業を複数展開することで支援を行っている。
	災害対策、非常時の体制整備			○	防災交通課	地域防災計画に組織体制や分掌事務を定め、迅速な災害対応の体制を整えている。
市民サービスをもっと簡単に分かりやすく	ICTの活用(手続きのオンライン化、キャッシュレス化)			○	情報政策課 収納課ほか	・オンライン申請(あいち電子申請届け出システム、スマート申請) 手続きの拡充を実施。今後も拡充予定。 ・キャッシュレス決済 市税、保険料の納付手段としてクレジットカード、ペイジーを導入及びスマホアプリ決済「Fami Pay」を追加。 「auPay」を追加予定。 ・QRコード決済「PayPay」 対象手続きの拡充を予定。
	手続きの簡素化		○		全課	各種申請書等の押印廃止に全庁的に取り組んだ。また、市民向けの各種文書を市民にとって分かりやすいように見直した。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【調査票3】

基本目標 居場所と出番 “活躍したいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 実施状況			④ 担当課	⑤令和3年度以降新たに取り組んだ[取り組む]内容
		準備中	実施中	完了		
犬山らしい教育を進めます	読解力向上推進		○		学校教育課	読解力を高める授業実践や本好きな子どもを育てる教育活動を展開するとともに、子どもの読解力の高まりを見取る「犬山読解力テスト」の試行版を作成・実施した。令和4年度には読解力向上の理解を深めるためシンポジウムを開催する。
	図書館改革		○		学校教育課(文化スポーツ課)	図書館コーディネーターや学校司書を中心に、本好きな子どもを増やすための取組を協議・実施した。
	学校施設の計画的な改修		○		学校教育課	楽田小学校の進入路及び運動場等外構工事を実施し、楽田小学校の整備を完了した。犬山南小学校の改築・改修の工事を令和4年度に着工し、令和7年度完成予定で進める。城東小中学校の整備は令和4年度の耐力度調査から開始する。
がんばる企業と新たな起業を応援します	後継者バンク創設		○		産業課	市単独で後継者バンクを設置した自治体にヒアリングを行った結果、広域での実施が効果的との結論に至り、愛知県事業承継引継ぎ支援センターと連携することとなった。中小企業自らが、事業継続、新商品の開発、業態変換等に取り組む際、相談から、計画実現の支援までを市の制度としてワンストップで行う。
	企業のマーケティング戦略の支援強化		○		産業課	事業継続支援事業制度を開始し、中小企業自ら経営計画を立て、それを実行するために必要なアドバイザーに係る費用の補助をする制度をスタートさせた。
新たな地域ブランド開発を応援します	新たな特産品の開発支援		○		産業課	商工会議所や特産品協会への補助を行い、活動への支援を行った。
	特産品・工業製品を通じた市外への犬山PR作戦		○		産業課	犬山市特産品協会と連携し、市外で特産品のPRを行った。
	新たに開発・商品化した事業者に対する販売促進活動などへの助成(6次産業化支援事業など)		○		産業課	農業者を対象とした農産物等付加価値向上補助金を創設し、地場農産物を活用した加工品開発などの支援を行った。
「しごとの場」を増やします	産業集積誘導エリアへの企業誘致		○		産業課	不動産事業者と意見交換を行い、情報の収集や提供を行い進出を促した。
	企業再投資促進		○		産業課	企業再投資促進補助金により市内企業へ補助を行い、設備投資を促進した。
農業でがんばる人を応援します	耕作放棄地対策		○		産業課	農業者と連携し、荒廃農地補助金を活用し、耕作放棄地の解消を図る。また、耕作放棄地を活用した市内NPOとも連携し支援することで新しい農業のあり方も検討していく。
	農業の担い手育成		○		産業課	新規就農支援補助金を創設し、新しく農業を始める方の支援を行った。また、関係機関(県、JA等)と連携し技術等の支援も行っていく。
シェアリングエコノミーでスキルを活用	シェアエコの普及活動		○		企画広報課	例年、駐車場シェアに関する説明会を実施してきたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症により説明会の実施を見送った。(コロナ禍で、駐車場シェアの利用者も減少している。)
	シェアエコを活用した地域課題の解決	○			企画広報課	これまでの駐車場シェア、体験メニュー(観光振興)の取り組みの深化を図るとともに、市の課題解決のために資する新たなシェアエコサービスの検討を行う。シェアエコの取組を進める民間団体(協働プラザ、にこっと等)等とも連携し、地域課題の解決を図っていく。
文化・スポーツで活躍で・交流するまちづくり	社会教育施設の修繕		○		文化スポーツ課	文化庁補助金を活用するうえ、犬山市文化会館大ホールの空調停止を防ぐため、冷温水発生器の部分改修を実施した。令和4年度は、開館から31年が経過した図書館本館の外壁、屋根等の改修工事を行い、施設の長寿命化を図る。
犬山の活性化へ金融機関・商工会議所・大学等と連携	連携事業候補の洗い出し		○		全課	名古屋経済大学、犬山商工会議所とは2者による会議を定期的で開催するとともに、継続して連携事業を実施している。令和3年度は、名古屋経済大学と新たに7事業を実施した。
	リーディングプロジェクト(先行事業)の抽出・検討・実施			○	企画広報課	名古屋銀行からの提案がきっかけで、市内中学校と名古屋経済大学の学生が市内企業を訪問し、紙面で紹介する「企業MAP」が作成され、市を含む関係機関へ贈呈された。
みんなで地域力UP！にチャレンジ	地域の課題解決支援事業		○		地域協働課	令和3年度は応募がなく未実施。令和4年度として公募を実施。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【調査票3】

基本目標 居場所と出番 “活躍したいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 実施状況			④ 担当課	⑤令和3年度以降新たに取組んだ[取組む]内容
		準備中	実施中	完了		
市民が主役のまちづくりを進めます	協働プラザの整備・運営		○		地域協働課	協働プラザの運営基盤は令和2年度で概ね整ったが、事業展開等に課題があったため、市と受託者による協議を増やして、コロナ禍の中での事業展開やアウトリーチ活動を実施した。令和4年度も事業計画に基づいた事業を展開しつつ、令和5年度以降の運営事業者を選定するためのプロポーザルを実施する。
	市民活動支援施策の推進	○			地域協働課	市民活動支援条例の改正に併せ、施策の推進について検討、実施していく。
	市民活動団体が自立するための団体経営に関する支援の強化		○		地域協働課	協働プラザにて、「社会活動の立ち上げと持続可能な運営を学ぶ講座」を計6回実施。
	協働のまちづくり基本条例の推進	○			地域協働課	施行から5年ごとに行う条例の見直しに向け、令和4年度以降に市民参加による検討の場を設けていく予定。
	市民活動支援条例の改正		○		地域協働課	市民ワークショップをオンラインで5回開催し、活動支援について意見徴収を行った。その意見を基に審議会を開催し、条例の改正について検討を行っている。(令和4年度中に改正予定)
	”活躍の場”づくり(フューチャーセッション)			○	地域協働課	協働プラザの事業として、令和2年度から実施。令和3年度は全8回開催し、延べ135名が参加。
	地域資源バンクの活用			○	地域協働課	31件の人材及び団体の情報を収集し、活用案件として24件をコーディネートした。また、シェアリングエコノミーサービスのポータルサイト「いぬやまでばん」の令和4年度展開に向けて、企画、検討を行った。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【調査票3】

基本目標 居場所と出番 “訪れたいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 実施状況			④ 担当課	⑤令和3年度以降新たに取り組んだ[取り組む]内容
		準備中	実施中	完了		
シティプロモーションを積極展開します	市ホームページリニューアルなどによる効果的な情報発信			○	企画広報課	市ホームページの見やすさ向上の一環として、これまでバラバラになっていた各施設のページについて、一定の記載事項を設け充実を図った。令和4年2月にはLINEのリッチメニューを1行3アイコンから2行6アイコンを増やし、市ホームページへ容易にアクセスできるようにした。
	シティプロモーション強化事業		○		企画広報課	令和3年度に動画作成を発注したが、まん延防止措置等により撮影スケジュールを組むことができなかったため、令和4年度に実施することとした。
戦略ある“観光まちづくり”をすすめます	観光戦略の策定と推進		○		観光課	令和3年度には全9回の会議(親会議3回、専門部会3回、庁内調整会議3回)を開催し、その後パブリックコメントを実施して犬山市観光戦略を策定した。8つの重点プロジェクトをはじめとする施策を順次実施していく。
	観光×○○事業		○		観光課	令和3年度には全30回の体験型観光メニューを実施し、計107名が参加した。また、オンラインでの説明会の実施、個別訪問、他のシェアリング事業者との連携等を進め、体験型観光コンテンツの造成に努めた。
木曽川河川空間を活性化します	木曽川河畔の整備(栗栖地区)		○		企画広報課 観光課	令和2年度に「河川空間全体活性化夢プランto 2030 ver.1.0」を作成(見直し)。市が重点的に推進するアクションとして、「【短期】ビュースポットの整備」をあげており、「ミラマチ栗栖」のメンバーにより、一時、試験的なビュースポットが作られたが、大雨による増水があったため撤去した。今後も法的、地形的な制約を踏まえて検討していく。 栗栖園地南側の空気を拡張利用する予定だったが、木曽川の増水によって進入路などが削られてしまったため令和3年度の整備は見送った。木曽川上流河川事務所や地元団体と調整を図り、拡張利用の整備と利活用の手法(区域指定)の検討などを実施する予定。
	地域の魅力づくりと発信(栗栖地区)		○		企画広報課 観光課	県の交付金を活用して、野苑公苑内道路の整備を実施した。 名鉄とコトモファームによる「桃太郎マルシェ」が11月に開催され、地元団体との結び付けや周知などの側面的支援を実施して「ミラマチ栗栖」も出店した。 今後もミラマチ栗栖が行う地域の魅力づくり等につながるアクションの側面的支援を継続する。
	飲食・物販やイベントを通じたにぎわいと地域活力の創造(内田地区)		○		企画広報課 観光課	平成30年度、令和元年度にはロングラン花火にあわせて、木曽川河畔の遊歩道で飲食・物販イベント「宵のいぬやMARCHE」を試験的に実施したが、令和2年度に引き続き令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を見送った。 令和4年度も本イベントを試験的に実施するとともに、本格運用の検討を行う。
文化財を保存し、魅力を創出・発信します	歴史資料等の収集・編纂		○		歴史まちづくり課	市史編さんの基本方針等をまとめた「犬山市史平成編編さん計画」を決定した。 市刊行物等の資料整理を行った。
	文化財保存活用地域計画の策定		○		歴史まちづくり課	市内の文化財の現地確認調査を実施した。 文化財の保存・活用に対する市民・団体へのアンケート、団体ヒアリングを実施した。 文化財の保存・活用に関する課題を整理し、基本的な方針について検討した。
	(犬山城)城山などの史跡整備		○		歴史まちづくり課	移築された城門の実測調査を実施した 浄蓮寺山門(一宮市:伝松の丸門)期間:令和3年8月5日、10月28日(2日間) 徳林寺山門(大口町:伝黒門)期間:令和3年10月7日、10月18日(2日間)